

令和 2 年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

神岡振興事務所



目 次

宇宙物理学関連国際会議等の誘致	1
魅力ある神岡のまちづくりの推進	2
神岡のまちづくり拠点の整備支援（旧深山邸利活用）	3
ロスト・ライン・パーク構想の推進	4
山之村地区の振興	5

新規 宇宙物理学関連国際会議等の誘致

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,000	ふるさと創生基金 2,000	補助金 2,000

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

市内には、東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設や、今後さまざまな成果の発表が期待される東京大学宇宙線研究所附属重力波観測研究施設、及び東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構、東北大学ニュートリノ科学研究センターが存在し、市外の国際会議場などで世界の研究者が集い、研究成果の発表や、会議（ミーティング）などがおこなわれています。

こうした国際会議を市内で開催する際の支援制度をつくり誘致を図ることで、飛騨市初の国際会議開催を目指します。

これにより、宇宙物理学研究を側面支援することのみならず、市内における経済波及効果を創出し、更には、高度な国際的学術会議が市内で開催されるというシビックプライドの醸成にも寄与することが期待できます。

3 事業概要

○ 宇宙物理学関連国際会議等開催支援補助金 (2,000千円)

補助要件：市内にて開催される50名以上の国際会議や国際学会等

補助金額：参加者数×宿泊日数×5,000円を支援（上限300万円）

※ 令和2年度は、東京大学宇宙線研究所がホストを務め、来年度開催が決定している国際会議「国際会議NNN20」(“Workshop on Next Generation Nucleon Decay and Neutrino Detectors”)の誘致を目指します。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	神岡振興事務所市民振興課	TEL	0578-82-2253	予算書	P.54

新規 魅力ある神岡のまちづくりの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
326	一般財源 326	報償費 300 旅費 14 需用費 12
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

平成30年度に神岡町民若手有志により「神岡の街づくりを考える会」が立ち上がり、今後の神岡のまちづくりについて議論が交わされてきました。そして、令和元年9月に検討結果が提言書として市へ提出されました。

しかし、提言書の内容は多岐に亘っており、そのすべてを具現化することは困難であることから、令和2年度に、提言書の内容について更に一步進んだ検討作業を進めるための官民協働による検討会議を設置し、神岡のまちづくりのグランドデザインを市民と一緒に描きます。

3 事業概要

令和元年に発足した神岡町観光事業者連携会議のメンバーや観光事業等の有識者にお集まりいただき、神岡町の魅力あるまちづくりを推進するための検討の場（「(仮称)令和版神岡のまちづくり検討会議」）を設置します。

令和元年9月に提出いただいた提言書をもとに、実際にどのようなことをすべきか具体策の検討を重ね、令和2年9月末を目途に全体構想をまとめあげます。

◎令和版神岡のまちづくり検討会議（予定）

- ・有識者1名＋検討メンバー（神岡町民有志等）10名程度で構成。
- ・会議は月1回程度開催。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	神岡振興事務所市民振興課	TEL	0578-82-2253	予算書	P. 54

新規 神岡のまちづくり拠点の整備支援（旧深山邸利活用）

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
3,550	ふるさと創生基金	3,550	負担金	3,550

（前年度予算 0 ）

2 事業背景・目的

「旧深山邸」は、神岡町の中心市街地に存在する、かつて花街として栄えた面影を今に残す建築物であり、現在はまち歩きガイドにより観光客などに公開されているものの、活用は進んでいません。その中で、平成26年10月に「『深山邸』保存を考える会」より旧深山邸を保存することの要望がなされ、その後、「若松家の活用を考える会」により、観光拠点として観光客や市民への一般公開を行うなどの活用案が提示されました。

市は神岡町地域における、まちづくりの一拠点形成を、こうした民間主導によりおこなっていただくために、必要な支援をおこないます。

3 事業概要

公募により旧深山邸を活用したい団体を募り、活用案を提示していただき、最も魅力的な提案をおこなった団体へ施設を貸し付け活用を図るとともに、最低限修繕が必要なトイレなど水回り部分の改修経費の一部を市が負担します。



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	神岡振興事務所市民振興課	TEL	0578-82-2253	予算書	P. 56

拡充 ロスト・ライン・パーク構想の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
6,773	鉄道資産整理基金 4,500 ふるさと創生基金 2,000 一般財源他 273	工事請負費 4,500 委託料 2,000 使用料 273
(前年度予算 2,026)		

2 事業背景・目的

旧神岡鉄道の廃線路を活用したレールマウンテンバイクは、新たなアクティビティとして現在でもなおマスコミに広く取り上げられています。平成30年度より供用開始した「溪谷コース」も人気を集め、利用者数は右肩上がりの状態が続いており、市の観光振興を支える重要な柱として成長を遂げています。

このことから、令和2年度も、首都圏等で開催されるイベント等に官民協働により参加し、更なるPRを展開します。

一方で、鉄道構造物のほとんどは竣工より50年を経過しており、経年劣化がみられる箇所もあることから、安全性確保のためにも定期点検・メンテナンスを含めた維持修繕工事も継続して実施していきます。

3 事業概要

① 【新規】「こども霞が関見学デー」への出展 (270千円)

令和2年8月19・20日に開催される「こども霞が関見学デー」の国土交通省スペースに、NPO法人神岡・まちづくりネットワークとの協働でレールマウンテンバイクガッタングーを出展し、本市が誇る廃線路を活用したアクティビティを広くPRします。

② 【継続】維持修繕等 (6,503千円)

毎年実施している施設の安全調査点検を行うほか、施設の老朽化に伴う旧奥飛驒温泉口駅舎などの屋根修繕工事等をおこないます。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	神岡振興事務所市民振興課	TEL	0578-82-2253	予算書	P.55

拡充 山之村地区の振興

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
7,484	ふるさと創生基金 7,484	委託料 7,484

(前年度予算 3,492)

2 事業背景・目的

人口減少が著しい飛騨市において、都市部の人材を「地域おこし協力隊員」「集落支援員」として積極的に受け入れ、地域おこし活動を通じて、市民との交流や地域の新たな魅力を発掘、地域課題の解決を図るとともに、その地域への定住を支援することは非常に重要であると考えています。

また、地域からも積極的な「地域おこし協力隊員」「集落支援員」の活用を求める声があることから、地域づくりの中核を担いつつ、地元住民では気づかない新たな魅力の発掘と市内外へのPRを行うとともに、地元住民と協働した地域力の維持・強化を図ります。

3 事業概要

① 【新規】地域おこし協力隊員の配置 (3,992千円)

地域のまちおこし団体や企業等と連携し、特色ある農産物のブランド化や体験交流型イベントによる誘客、また、様々な地域資源を結びつける仕組みづくりについて、地域おこし協力隊員1名を配置します。

② 【継続】集落支援員の配置 (3,492千円)

地域住民との連携を密にし、集落の巡回・点検による現状把握と課題分析や解決策の発案、農地・森林や地域資源の状況把握とその支援の実施、集落の維持及び活性化に関し必要な活動を行います。



(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 7 地域振興費	
所 属	神岡振興事務所建設農林課 TEL0578-82-2254	予算書	P. 55